

# 都市再生整備計画

かみおか  
神岡地区

ぎふ 岐阜県 ひだし 飛騨市

平成27年1月

## 都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	岐阜県	市町村名	飛騨市	地区名	神岡地区	面積	162.0 ha
計画期間	平成 27 年度 ~ 平成 31 年度	交付期間	平成 27 年度 ~ 平成 31 年度				

### 目標

【大目標】地域の魅力ある歴史・文化資源を活かしたまちづくりを推進し、街なかの賑わいと活力の創出を目指す。  
 【目標1】地域の歴史資源等を活かしたまちづくりを推進し、観光交流人口の増大を図る。  
 【目標2】街なかの回遊性を向上し、観光客等の来訪者を街なかへ誘導することで賑わいと活力を創出する。

### 目標設定の根拠

#### まちづくりの経緯及び現況

- ・旧神岡町は明治初期以降、神岡鉱山の企業城下町として栄え、昭和35年には約27,000人の人口を擁していたが、鉱山不況等から人口の流出が続き、平成25年度末には約9,000人にまで減少した。(H20末10,114人⇒H25末8,971人)
- ・出生率の低下や若年層を中心とする人口の社会的減少により、高齢化が進行し地域活力が大きく低下している。神岡町の高齢化率は平成25年度末で41%となっている。(H20 36.86%)
- ・平成17年度より街なみ環境整備事業(住宅局)を実施しており、市街地を中心とした地域における道路等の修景整備や住宅等景観助成などの街なみ景観整備を進めてきた。事業の実施にあたり、地域住民で構成された「まちづくり委員会」を開催し、住民意見を反映しながらまちづくりを進めている。
- ・NPO神岡町づくりネットワークが実施している鉄道廃線を活用したレールマウンテンバイク事業は大変盛況で年間26,000人の利用者があり、交流人口の増加に大きく貢献している。当事業による街なかへの経済効果が期待されている。
- ・街なかには鉱山の名残や古民家、共同水屋などの昭和の懐かしさが残る魅力的な歴史・文化資源が多く存在するが、それらを結ぶための来訪者が憩い交流できる場やまちなみ情報を収集する場などの回遊スポットが不足しているため、観光交流にうまく活かせていない状況にある。
- ・回遊起点となる駐車場が街なかに無いため、観光客等の来訪者を街なかへ誘導するための大きな阻害要因となっている。また、観光客が集中する地域行事の際に利用できるような比較的に大きな駐車場も不足している。
- ・神岡町は特別豪雪地域に指定される雪深い地域であり、除雪機が路側まで入らず多くの雪が残ったり、流雪溝の水量不足により雪の処理が困難な状況にあるため、初金比羅宵祭などの冬季観光イベント時など街歩きにとって大きな支障となっている。

#### 課題

- ①人口減、高齢化により地域活力が大きく低下しているため、共同水屋など昭和の名残がある魅力的な地域の歴史・文化資源を活かしたまちづくりを推進することで、観光交流人口の増大を図る必要がある。
- ②衰退した街なかの賑わいと活力を創出するために、回遊スポットとなるまちなみ情報収集、憩い、交流の場等を整備するとともに、駐車場不足や冬季イベントなどにおいて雪に阻害されない歩行者空間の確保などの阻害要因を解消することで、街なかの回遊性を向上し、観光客等の来訪者を街なかへ誘導する必要がある。

#### 将来ビジョン(中長期)

飛騨市第二次総合計画におけるまちづくり基本構想(H22~H31)

- 『市民が いつまでも 安心して暮らせるまちづくり』
- 社会資本の充実 … 『住宅・住環境の充実』消融雪設備や流雪溝の整備の促進、バリアフリー化された公共施設の整備
  - 経済の活性化のために … 『観光業の振興』魅力ある地域資源を活かした滞在型観光の推進と交流人口の増加

### 目標を定量化する指標

指標	単位	定義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
観光交流人口	人/年	神岡町の街なかにおける年間観光客数	観光交流に資するまちづくりによって増加した観光交流人口に対する指標とし、神岡町の街なかにおける年間観光客数の増加を目標とする。	36000	H26	40000	H31
街歩きガイド利用者数	人/年	神岡町の街歩きガイドの年間利用者数	街なかを回遊した観光客の増加状況に対する指標とし、神岡町の街歩きガイドの年間利用者数の増加を目標とする。	314	H26	400	H31
市街地宿泊者数	人/年	神岡町市街地の宿泊施設における年間宿泊者数	観光交流人口の街なかへの誘客状況に対する指標とし、神岡町市街地の宿泊施設における年間宿泊者数の増加を目標とする。	7200	H26	7560	H31

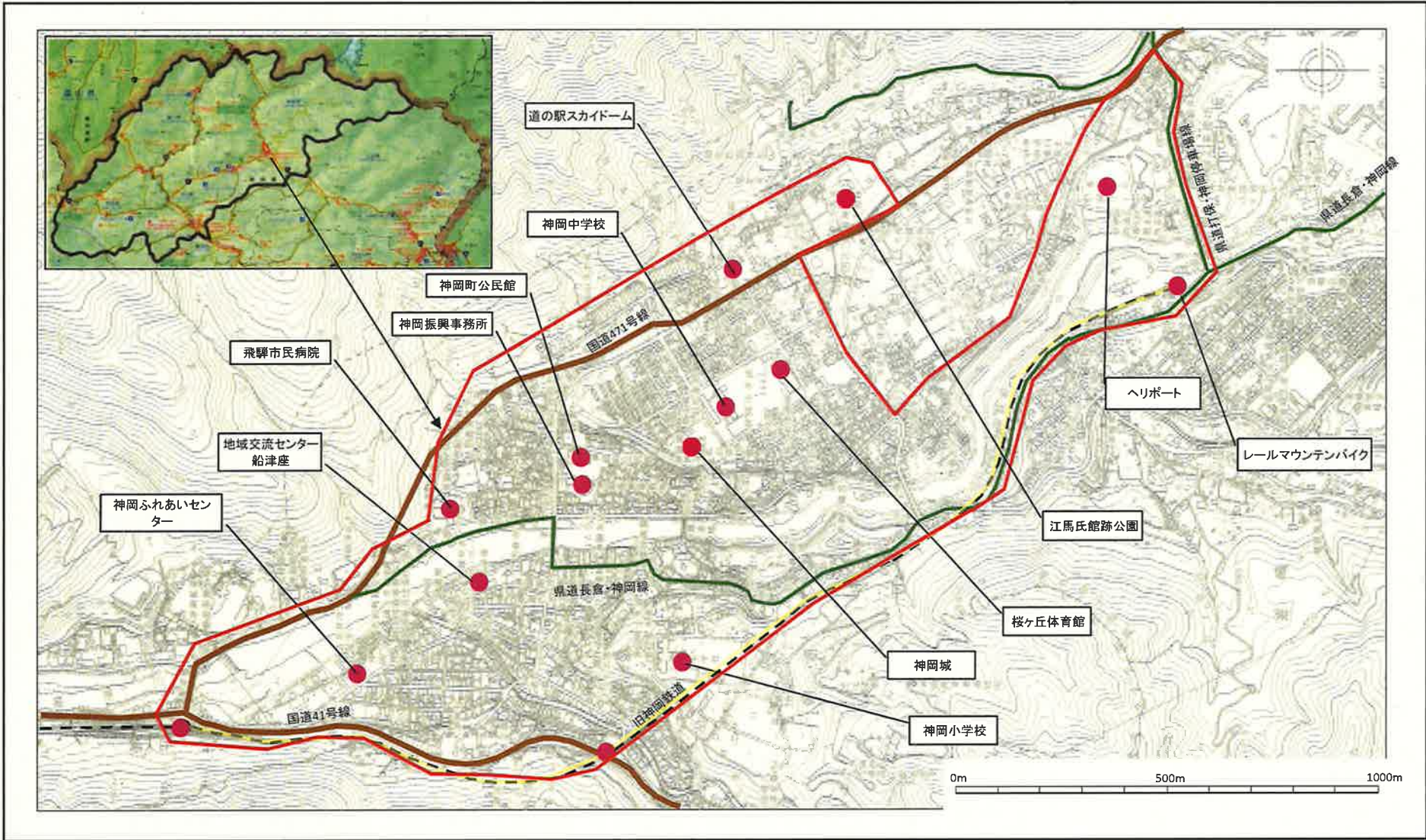
都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>1. 地域の歴史資源等を活かしたまちづくりを推進し、観光交流人口の増大を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光スポットにおいて憩いの広場やトイレなどを整備することで、施設の利便性の向上や利用促進による観光交流人口の増加を図る。</li> <li>・昭和の懐かしさが残る共同水屋や古民家などの地域の歴史等資源の修景整備を行い、回遊スポットとして観光交流に活用する。</li> </ul>	<p>■基幹事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域生活基盤施設(広場): レールパーク整備</li> <li>・高質空間形成施設(歩行支援施設): 旧神岡鉄道駅トイレ(バリアフリー対応)</li> </ul> <p>○関連事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・街なみ環境整備事業(歴史・文化資源等の修景整備)</li> </ul>
<p>2. 街なかの回遊性を向上し、観光客等の来訪者を街なかへ誘導することで賑わいと活力を創出する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の歴史等資源を結ぶための回遊スポットとして、広場、トイレ、まちめぐり情報案内施設などを整備し、街なかの回遊性の向上を図る。</li> <li>・駐車場不足や、冬季における歩行者空間の確保などの街歩きにおける阻害要因を解消し、来訪者の街なかへの誘導を促進する。</li> <li>・街なかに近い場所に観光交流起点となるバスターミナルを整備することで回遊性を向上する。</li> </ul>	<p>■基幹事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高質空間形成施設(歩行支援施設): 市道大門・花園線ほか2路線融雪設備整備 蟻川公園トイレ整備(バリアフリー化)</li> <li>・地域生活基盤施設(広場): 東町交流広場整備</li> <li>・地域生活基盤整備(駐車場): 大島駐車場、船津中央駐車場</li> </ul> <p>□提案事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域創造支援事業: 観光交流施設(まちめぐり情報案内施設)</li> </ul> <p>○関連事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バスターミナル整備</li> <li>・街なみ環境整備事業(歴史・文化施設等の修景整備)</li> </ul>
<p>その他</p>	



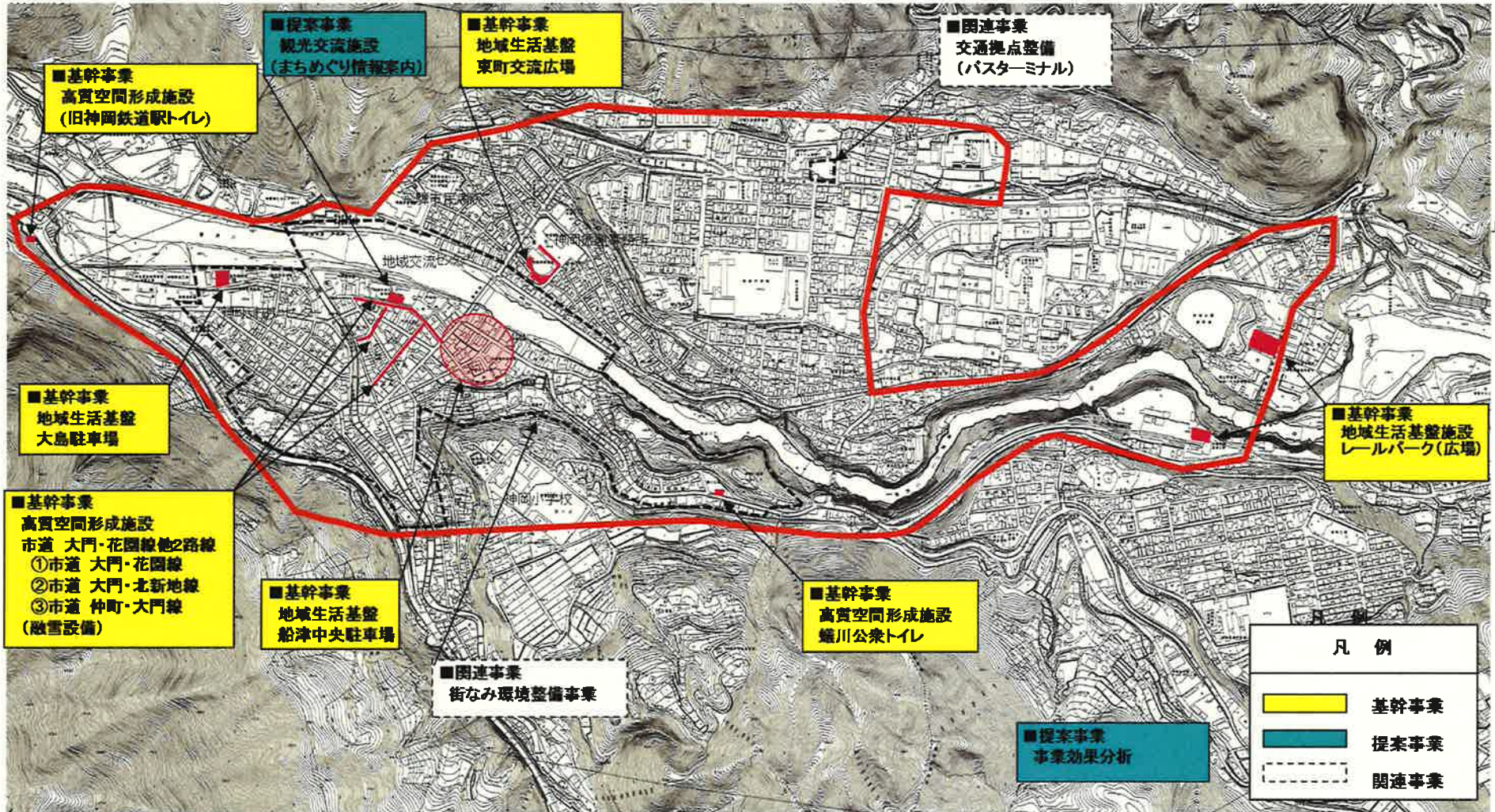
都市再生整備計画の区域

<p>神岡地区(岐阜県飛騨市)</p>	<p>面積 162.0 ha</p>	<p>区域 神岡町船津、朝浦、東町、殿、江馬町、夕陽ヶ丘、桜ヶ丘、城ヶ丘、坂富町</p>
---------------------	--------------------	--



### 神岡地区(岐阜県飛騨市) 整備方針概要図

目標	地域の魅力ある歴史・文化資源を活かしたまちづくりを推進し、街なかの賑わいと活力の創出を目指す	代表的な指標	観光交流人口	(人/年)	36000	(H26年度)	→	40000	(H31年度)
			街歩きガイド利用者数	(人/年)	314	(H26年度)	→	400	(H31年度)
			市街地宿泊者数	(人/年)	7200	(H26年度)	→	7560	(H31年度)



# 社会資本整備総合交付金チェックシート

(都市再生整備計画事業等タイプ)

計画の名称: 神岡地区都市再生整備計画

事業主体名: 飛騨市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①都市再生基本方針との適合等	
1) まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	○
2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
②地域の課題への対応	
1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
④事業の効果	
1) 十分な事業効果が確認されている。	○
2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤地元の熱意	
1) まちづくりに向けた機運がある。	○
2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
⑥円滑な事業執行の環境	
1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
2) 交付期間中の計画管理(モニタリング)を実施する予定である。	○
3) 計画について住民等との間で合意が形成されている。	○